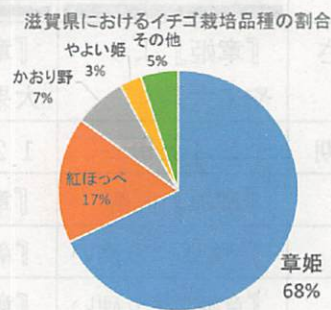
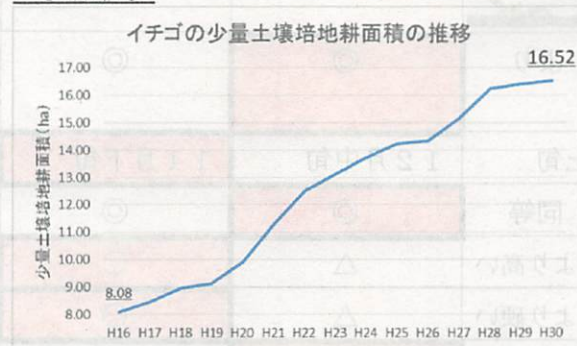


## イチゴの新品種育成について

### 1 現状と課題

#### 【イチゴの生産販売の状況と課題】

- 新規就農者、定年帰農者を中心に、滋賀県開発の少量土壌培地耕による高設栽培により栽培面積が16.5haに拡大(H30)。
- 当初、ほとんどは生産者の直売が行われていたが、生産量の増大に合わせて、直売所での販売、市場出荷、加工品開発、そしてイチゴ狩りなど、販売が多様化。



- 一方、品種は『<sup>あきひめ</sup>章姫』が主で68%を占め、主な4品種で95%を占めている。
- 主要品種『章姫』は、収量が高いという長所を持つ一方、果皮が柔らかいことから、輸送に適さず、直売以外の販売に不向きという短所を持っている。
- 『章姫』の果皮の柔らかさが販売の拡大に向けた課題となっている。

### 2 課題解決に向けた品種育成について

- イチゴの更なる生産の拡大と有利販売に向けて『章姫』にかわる新たな優良品種を求める生産現場の声がある
- 開発された品種のおよそ77%は県外での使用を認めていない状況にあり、優良新品种の囲い込みが全国的に行われている。
- 滋賀県独自の品種育成を行い、ブランド化を図ることで、有利性を実現する。

#### 【品種育成の目標】

- 12月上旬に収穫できること。
- 糖度は『章姫』同等で、酸味を有した良食味のもの。
- 『章姫』よりも果皮が硬いこと。

### 3 育成状況（令和元年度）

- 農業技術振興センター内ほ場で、選抜した2系統の栽培管理技術の検討を行うとともに、  
品種登録に必要な特性の調査および1系統に絞り込むための選抜試験を実施中。
- 現地ほ場（長浜市および守山市）で現地適応性試験を実施中。

#### ○選抜された2系統の特性

	滋賀SB1号	滋賀SB2号	章姫	かおり野
				
果実の大きさ	『章姫』より やや大果	『章姫』より 大果	◎	◎
収穫開始時期	12月上旬	12月上旬	12月中旬	11月下旬
糖度	『章姫』同等	『章姫』同等	◎	◎
酸味	『章姫』より高い	『章姫』より高い	△	○
果皮の硬さ	『章姫』より硬い	『章姫』より硬い	△	○
収量	『章姫』同等	『章姫』同等	◎	◎

（H29、H30の農業技術振興センター試験結果より）

### 4 スケジュール

令和5年度の本格生産をめざす。

